

Windows

カスタム ライブラリ

ビルド パッケージ

(Visual Studio プロジェクト・データ)

(1.6.5.2 版)

1.	概要	1
1.1.	対応する Windows/VisualStudio のバージョン	1
2.	Zip ファイルの解凍	1
3.	ビルドパッケージの解凍	2
4.	手動インストール	2
4.1.	手動インストール手順	2
4.2.	手動アンインストール手順	2
4.3.	インストール情報のクリーンアップ	3
5.	環境変数について	4
6.	C/C++ 開発環境の設定	5
6.1.	インクルードパスの設定	5
6.2.	リンカのライブラリパスの設定	6
6.3.	DLL の配置	6
7.	C# (.NET- Framework) 開発環境の設定	7
7.1.	ツールボックスアイテムの登録	7
7.2.	.NET Framework 用クラスライブラリの配置	8
8.	ソースプログラム (VisualStudio プロジェクトデータ) の解凍	9
8.1.	ビルドパッケージの各フォルダの内容	9
8.2.	各パーツのビルド方法	10
8.3.	生成ファイル	11
9.	ライブラリ ソースプログラムの内容	12
9.1.	C/C++ライブラリ (AjrCst32. dll / AjrCst64. dll) 用ソースプログラム	12
9.2.	C++用クラスライブラリ	15
9.3.	C#, VB. NET 用ライブラリ	16
10.	再配布	17
11.	免責事項	17
12.	問い合わせ先	17

1. 概要

Windows カスタムライブラリのソースプログラム(VisualStudio プロジェクトデータ)の構成について記述します。
このパッケージには、ライブラリ自体の全ソースプログラムと、ライブラリをビルドする為に必要なすべてのファイルが含まれます。
(ライブラリをビルドするにはVisualStudio2010以降のVisualStudioが必要です)
ソースプログラムを修正し、プロジェクトをビルドすることにより、本ライブラリをカスタマイズすることができます。

1.1. 対応する Windows/VisualStudio のバージョン

このライブラリは、PC版の Windows10 / Windows11 (64ビット版 Windows と 32ビット版 Windows) で動作可能です。
VisualStudio のバージョンは、VisualStudio2010以降 (VisualStudio 2010, ..., VisualStudio 2022 ...) となります。

2. Zip ファイルの解凍

「WinCustLib.zip」を解凍すると以下のデータが作成されます。

解答データ

フォルダ	ファイル	内容			
WinCustLib\Rel	AjrCstInstall.pdf	インストール手順 (本書)			
	AjrCstParts.pdf	パーツデータによる手動インストール手順			
	AjrCstBuildPack.pdf	ビルドパッケージの説明 (本書)			
	Data	SampleProgram.zip	サンプルプログラム (※1)		
		PartsData.zip	パーツデータ		
		BuildPack.zip	ビルドパッケージ(VisualStudioプロジェクト)		
	Doc	AjrCst32.pdf	C/C++用ライブラリ説明書		
		AjrMsi1.pdf	C#(.NET Framework)用ライブラリ説明書		
		AjrCppClass.pdf	C++用クラスライブラリ説明書		
	Install	Win64	WinCustLibE	setup.exe WinCustLibE.msi	インストールデータ (日本語以外のWindows用)
			WinCustLibJ	setup.exe WinCustLibJ.msi	インストールデータ (日本語Windows用)

※1 : C#/VB.NET用のサンプルプログラムを実行する場合は、「手動インストール」を行っておいください。

本書では、上記解凍データ (BuildPack.zip) の内容について記述します。

3. ビルドパッケージの解凍

ビルドパッケージ (BuildPack.zip) を解凍すると、以下のデータが生成されます。

▼	▲	AjrCustCtrl	
▼	▼	._gbl	
	▲	bin	実行ファイル等 (.exe, .lib, .dll)
	▲	doc	ドキュメントファイル(.pdf)
	▲	icon	アイコンデータ
	▲	inc	C/C++用インクルードファイル(.h)
▼	▲	Samples	
	▶	AjrCstXX	C/C++ 用サンプルプログラム群
▼	▲	AjrMsil	
	▶	CSharp	C# 用サンプルプログラム群
	▶	VbNET	VB.NET 用サンプルプログラム群 (若干数)
	▶	AjxCpp	C++クラスライブラリを使用したサンプルプログラム群
▶	▲	AjrCstProj	C/C++用ライブラリの全ソースプログラムとビルド・プロジェクト
▶	▲	AjrCstSetup	セットアップデータ作成プロジェクト
▶	▲	AjrMsilProj	C#用ライブラリの全ソースプログラムとビルド・プロジェクト
▶	▲	AjxCppProj	C++用クラスライブラリの全ソースプログラムとビルド・プロジェクト

4. 手動インストール

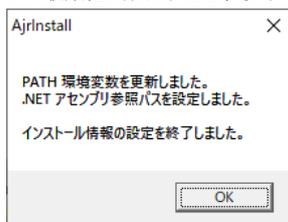
手動インストールについて説明します。

4.1. 手動インストール手順

以下の手順で手動インストール操作を行います。

(手動インストールでは、システムにインストール情報は記録されませんので、アンインストールも手動で行う必要があります)

- 1) すでに以前のバージョンがインストールされている場合は、アンインストールしておいてください。
アンインストールの手順は「4.2 手動アンインストール手順」を参照してください。
- 2) bin¥AjrInstall64.exe (32BitWindows の場合は AjrInstall32.exe)を実行しライブラリの初期化を行います。
手動インストールでは、PCへライブラリのパス情報を設定します。
bin¥AjrInstall64.exe /AjrInstall32.exe は、管理者権限で実行されます。
- 3) ライブラリの初期化が成功すると、以下のメッセージが表示されます。

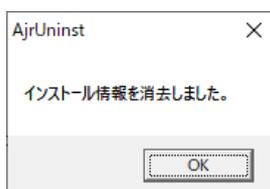


4.2. 手動アンインストール手順

以下の手順でアンインストール操作を行います。

(手動インストールした場合は、システムにインストール情報は記録されませんので、システムのスタートメニュー (アプリ) からのアンインストール操作はできません。)

- 1) bin¥AjrUninst64.exe (32BitWindows の場合は AjrUninst32.exe)を実行しライブラリの初期化情報を削除します。
bin¥AjrUninst64.exe /AjrUninst32.exe は、管理者権限で実行されます。
- 2) ライブラリの初期化情報の削除が成功すると、以下のメッセージが表示されます。

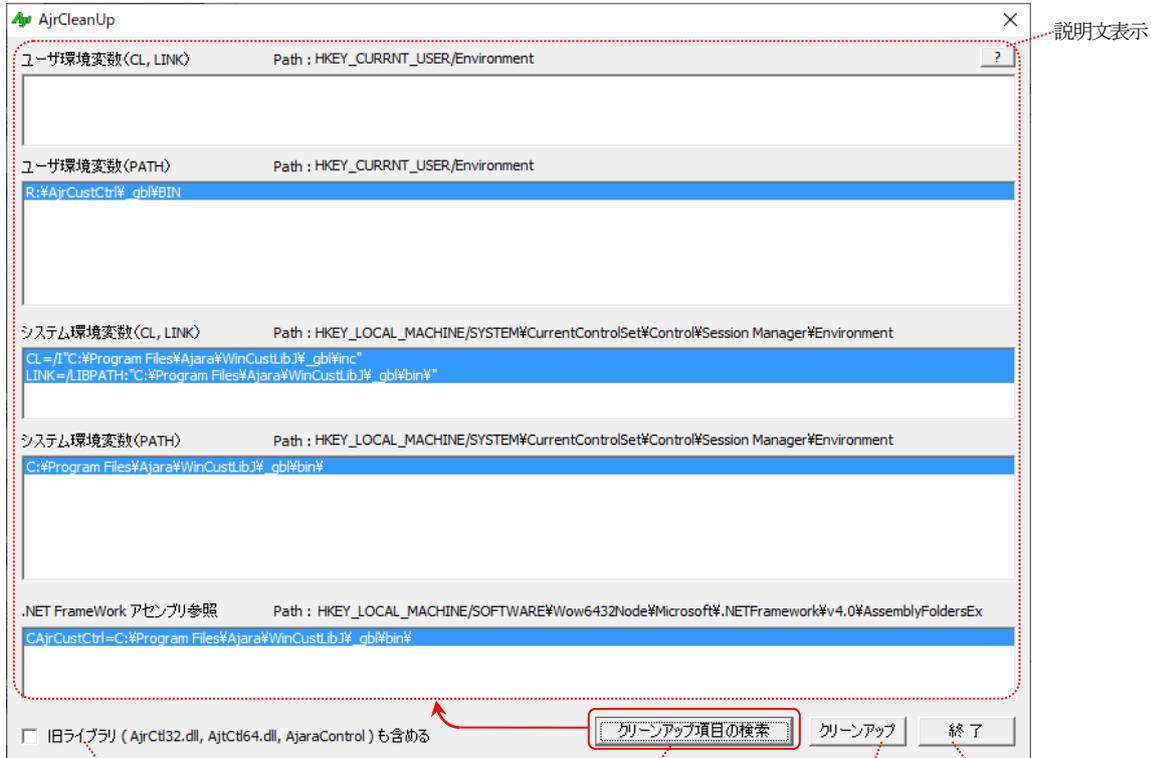


4.3. インストール情報のクリーンアップ

インストーラによるインストール、手動インストールや手動で環境変数の設定を行った場合等でインストール情報が散在する場合、以下のプログラムにより散在するインストール情報を一括してクリーンアップすることができます。

- AjrUCleanup32.exe (32Bit PC用)
- AjrUCleanup64.exe (64Bit PC用)

実行イメージ



旧ライブラリ (カスタムコントロールと汎用API) のインストール情報も含めます。

全てのインストール情報を検索し、上のリストボックスに表示します。

プログラムを終了する

リストボックス内の選択された項目をクリーンアップします。クリーンアップしない項目は、選択状態 (青色反転表示) を解除しておきます。

※インストール情報のクリーンアップを行った場合でも、ライブラリのファイル群は残ります。インストール情報のクリーンアップは、参照パスのクリーンアップだけを行います。

※インストーラによりインストールした場合、システムからインストール情報を削除するには、アンインストール操作を行う必要があります。

※「境変数 (CL, LINK)」は、単に、CL 環境変数と LINK 環境変数をピックアップします。「クリーンアップ」ボタンで、ピックアップした CL 環境変数、LINK 環境変数を消去します。

※「境変数 (PATH)」は、当該パスに「AjrCst32.dll」or「AjrCst64.dll」(「旧ライブラリも含める」をチェックした場合は、「AjrCtl32.dll」or「AjrCtl64.dll」も含む) が存在し、かつ、「AjrVersion32.exe」or「AjrVersion64.exe」が存在するパスをピックアップします。「クリーンアップ」ボタンで、PATH 環境変数からピックアップしたパスだけを消去します。

※「.NET Framework アセンブリ参照」は、アセンブリ参照名「CAjrCustCtrl」(「旧ライブラリも含める」) をチェックした場合は「AjaraControl」も含む) をピックアップします。「クリーンアップ」ボタンで、ピックアップしたアセンブリ参照が消去されます。

5. 環境変数について

インストールを行うと、以下の項目がシステム環境変数に追加設定されます。

環境変数名	追加される内容 (～はPartsData.zipを解凍したフォルダパス)	備考
CL	/I"～_gbl\inc"	手動インストールでは設定されません。 設定するにはAjrSetEnv32/64.exeを実行します
LINK	/LIBPATH:"～_gbl\bin"	
PATH	～_gbl\bin	

「CL」環境変数は、C/C++コンパイル時のインクルードファイルのパスを指定します。

「CL」環境変数の設定により、ソースに「#include <AjrCstXX.h>」を記述するだけでC/C++プログラムのコンパイルができます。

「LINK」環境変数は、.libファイルの位置を指定します。

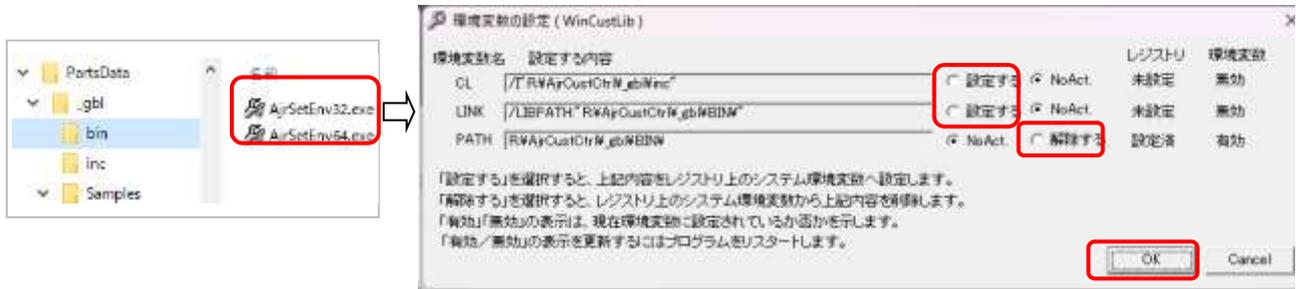
「LINK」環境変数の設定により、.libファイルのパスや名称を指定しなくてもリンカージ（C/C++プログラムのビルド）が可能となります。

「PATH」環境変数は、ライブラリの実行ファイル（.dll）のパスを指定します。

「PATH」環境変数の設定により、本ライブラリが自動的にロードされて実行することができます。

この環境変数は、bin\AjrSetEnv64.exe（32bit Windowsの場合はbin\AjrSetEnv32.exe）により無効化/有効化できます。

bin\AjrSetEnv64.exe / bin\AjrSetEnv32.exe は管理者権限で実行されます。



「解除する」をチェックすると、当該環境変数の設定が解除されます。この場合、次回起動時に当該項目の「NoAct.」は「設定する」に変わります。

「設定する」をチェックすると、当該環境変数が設定されます。この場合、次回起動時に当該項目の「設定する」は「NoAct.」に変わります。

<注> C#やVB.NET(.NET-Framework)で本ライブラリを使用する場合は、PATH環境変数を解除しないでください。

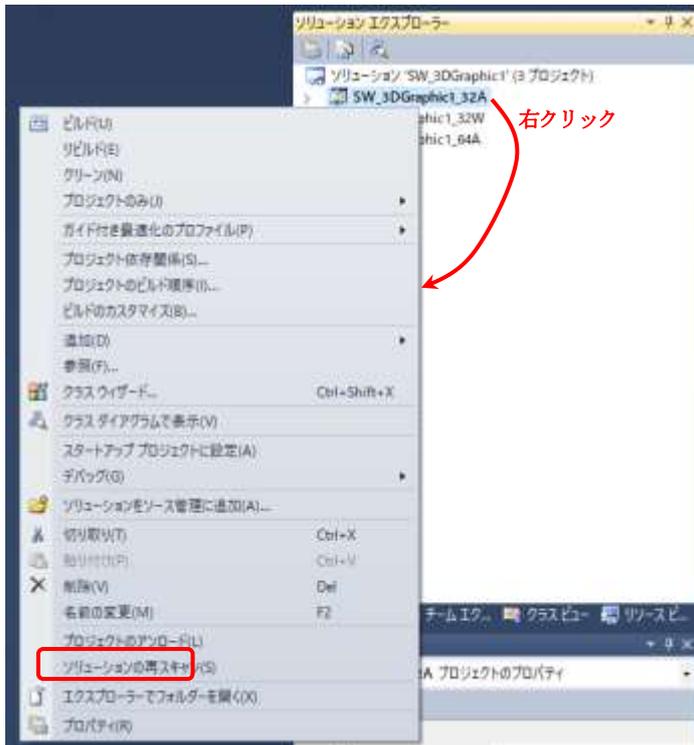
6. C/C++ 開発環境の設定

インストール後は、(環境変数が設定されている為) 特に開発環境を設定する必要はありませんが、作成したプログラムを配布する際において、配布したプロジェクトをビルドできるようにする、あるいは、配布したプログラムを実行できるようにする目的で、VisualStudio の設定を行う必要が生じる場合があります。

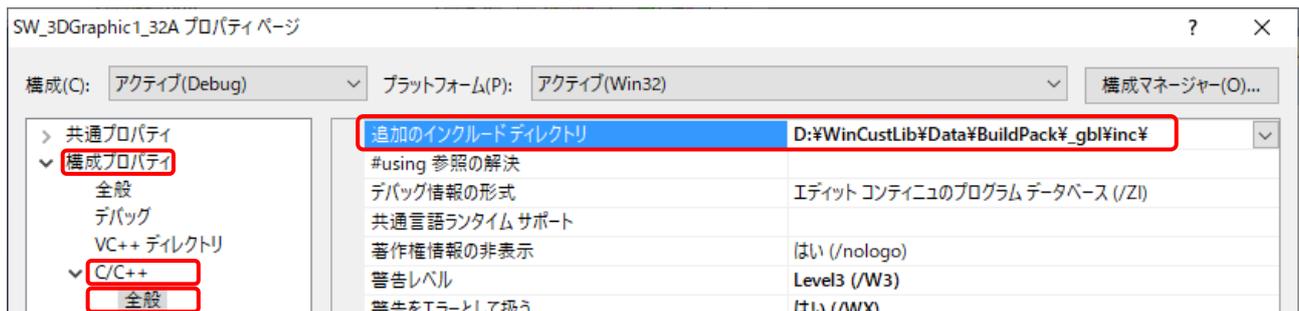
ここでは、C/C++を使用する際の VisualStudio の設定方法と DLL の配置について説明します。

6.1. インクルードパスの設定

「ソリューションエクスプローラ」から、当該プロジェクトを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



プロパティページで、「構成プロパティ」→「C/C++」→「全般」の「追加のインクルードディレクトリ」へインクルードファイルが格納されているフォルダへのパスを設定します。(プロジェクトフォルダからの相対パスでも可)



6.2. リンカのライブラリパスの設定

プロパティページで、「構成プロパティ」→「リンカ」→「全般」の「追加のライブラリディレクトリ」へ
AjrCst32.lib /AjrCst64.lib が格納されているフォルダへのパスを設定します。(プロジェクトフォルダからの相対パスでも可)



6.3. DLLの配置

本ライブラリを使用したアプリケーションプログラムを配布する場合、配布先で本ライブラリをインストールするか、あるいは、実行プログラムファイル (.exe) と同じフォルダに DLL ファイルを同梱する必要があります。

作成したプログラムを配布する際に、配布先で本ライブラリをインストールしない場合は、実行プログラムファイル (.exe) と同じフォルダに、以下の DLL ファイルを置いて下さい。(・・・\%_gb1\%bin からコピーします)

- AjrCst32.dll
- AjrCst64.dll (32Bit-Windows の場合は不要)

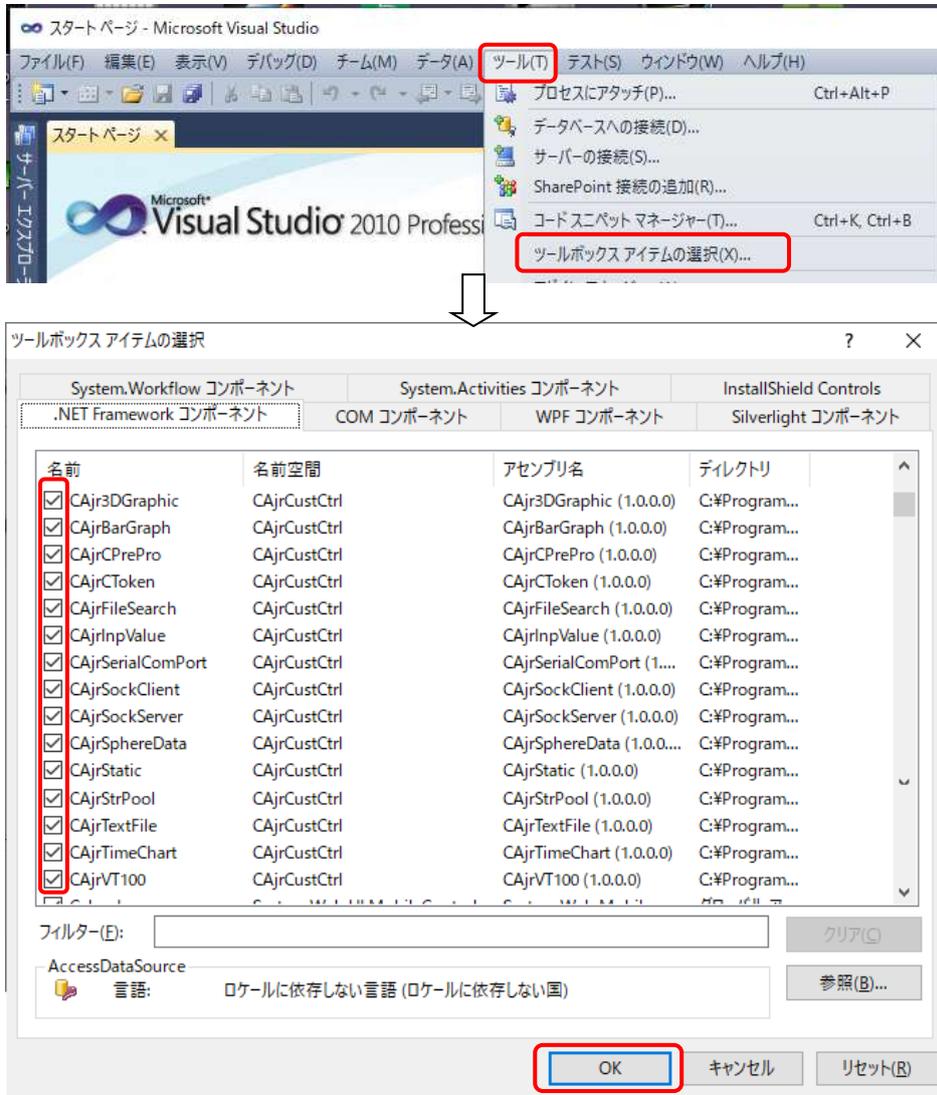
- AjrCpp32.dll
- AjrCpp64.dll (32Bit-Windows の場合は不要)

7. C# (.NET- Framework) 開発環境の設定

C# (.NET Framework) を使用する際の VisualStudio の設定方法とクラスライブラリの配置について説明します。

7.1. ツールボックスアイテムの登録

本ライブラリをインストール後、VisualStudio を起動し、「ツール」→「ツールボックスアイテムの選択」で「CAjr」で始まる以下の項目をチェックします。



※「OK」ボタンを押した際に、右のようなメッセージが表示される場合があります。気にせずに「OK」ボタンを押してください。



7.2 .NET Framework 用クラスライブラリの配置

本ライブラリを使用したアプリケーションプログラムを配布する場合、配布先で本ライブラリをインストールするか、あるいは、実行プログラムファイル（.exe）と同じフォルダに DLL ファイルを同梱する必要があります。

作成したプログラムを配布する際に、配布先で本ライブラリをインストールしない場合は、実行プログラムファイル（.exe）と同じフォルダに、以下の DLL ファイルを置いて下さい。（・・・¥_gbl¥bin からコピーします）

- AjrCst32.dll
- AjrCst64.dll （32Bit-Windows の場合は不要）
- CAjr3DGraphic.dll
- CAjrBarGraph.dll
- CAjrCPrePro.dll
- CAjrCToken.dll
- CAjrCustCtrl.dll
- CAjrFileSearch.dll
- CAjrInit.dll
- CAjrInpValue.dll
- CAjrSerialComPort.dll
- CAjrSockClient.dll
- CAjrSockServer.dll
- CAjrSphereData.dll
- CAjrStatic.dll
- CAjrStrPool.dll
- CAjrTextFile.dll
- CAjrTimeChart.dll
- CAjrVT100.dll

「CAjr」で始まる DLL ファイルは使用する機能によっては不要なファイルもありますが、全部配置しておいた方が無難です。

8. ソースプログラム(VisualStudio プロジェクトデータ)の解凍

「BuildPack.zip」を解凍すると、本ライブラリの全ソースプログラムとビルド用プロジェクトが生成されます。

8.1. ビルドパッケージの各フォルダの内容

BuildPack.zip を解凍すると、以下のフォルダが生成されます。

フォルダ	内容
_gbl	—
bin	実行プログラム群(.dll / .exe)
inc	C/C++ライブラリ用のインクルードファイル
Samples	サンプルプログラムとデータ
AjrCstXX	C/C++用サンプルプログラム (AjrCstXX.sln)
AjrMsi1	.NET Framework 用サンプルプログラム
CSharp	C#のサンプルプログラム群 (CSharp.sln)
VbNET	VB.NETのサンプルプログラム群 (VbNET.sln)
AjxCpp	C++クラスライブラリを使用したサンプルプログラム群
AjrCstProj	C/C++用ライブラリの ライブラリ・ビルド・ソリューション (AjrCstProj.sln)
proj	C/C++用ライブラリのビルド・プロジェクト群
src	C/C++用ライブラリのビルド・ソースプログラム群
AjrCstXX	ライブラリAPI群
AjrInstall	インストール時の実行プログラム
AjrSetEnv	環境変数の設定/解除プログラム
AjrUCleanUp	インストール情報のクリーンアッププログラム
AjrUninst	アンインストール時の実行プログラム
AjrVersion	バージョン表示プログラム
AjrMsi1Proj	C#/VB.NET 用クラスライブラリの ライブラリ・ビルド・ソリューション(AjrMsi1Proj.sln)
CAjr3DGraphic	3DグラフィックDLLプロジェクト
CAjrBarGraph	棒グラフ/折れ線グラフDLLプロジェクト
CAjrPrePro	C言語プリコンパイルDLLプロジェクト
CAjrCToken	C言語ブ字句分解DLLプロジェクト
CAjrCustCtrl	ライブラリの共通定義DLLプロジェクト
CAjrFileSearch	ファイル検索DLLプロジェクト
CAjrInit	初期化用DLLプロジェクト
CAjrInpValue	値の入力DLLプロジェクト
CAjrSerialComPort	シリアル通信DLLプロジェクト
CAjrSockClient	ソケット(TCP/IP)クライアントDLLプロジェクト
CAjrSockServer	ソケット(TCP/IP)サーバDLLプロジェクト
CAjrSphereData	テストデータ生成DLLプロジェクト
CAjtStatic	スタティッククラスDLLプロジェクト
CAjrStrPool	文字列プールDLLプロジェクト
CAjrTextFile	テキストファイルアクセスDLLプロジェクト
CAjrTimeChart	タイムチャートDLLプロジェクト
CAjrVT100	VT100エミュレーションDLLプロジェクト

8.2. 各パーツのビルド方法

各パーツのビルドには、「VisualStudio2010」以降の VisualStudio (VisualStudio2010~2022・・・) が必要です。

また、「VisualStudio2012」以降の VisualStudio を使用した場合は、以下のようなアップグレードを促すメッセージが表示されますので「OK」ボタンを押して、アップグレードを実行してください。(下記は、VisualStudio 2019 の例)



VisualStudio 2010 の環境 (プラットフォームツールセット v100) がある場合は、「キャンセル」でもOK。

各パーツのビルド用ソリューションファイル(.sln)は、以下のとおりです。

#	ビルドターゲット	ソリューション ファイル
1	C/C++用ライブラリ	AjrCstProj%AjrCstProj.sln
2	C++クラスライブラリ	AjrCppProj%AjrCppProj.sln
3	C#/VB.NET 用ライブラリ	AjrMsilProj%AjrMsilProj.sln
4	C/C++用サンプルプログラム	_gbl%Samples%AjrCstXX%AjrCstXX.sln
5	C++(クラスライブラリ)用サンプルプログラム	_gbl%Samples%AjxCpp%AjxCpp.sln
6	C#用サンプルプログラム	_gbl%Samples%AjrMsil%CSsharp%CSsharp.sln
7	VB.NET 用サンプルプログラム	_gbl%Samples%AjrMsil%VbNET%VbNET.sln

「.sln」ファイルをダブルクリックすると、VisualStudio が起動します。「ビルド」メニューから「ソリューションのリビルド」を実行してください。

8.3. 生成ファイル

各ビルドにより作成されるファイルは、以下の通りです。

#	ビルドターゲット	作成される ファイル	
		32 ビット用	64 ビット用
1	C/C++用ライブラリ (AjrCstProj.sln)	_gbl%bin%AjrCst32.dll _gbl%bin%AjrCst32.lib _gbl%bin% AjrInstall32.exe _gbl%bin% AjrSetEnv32.exe _gbl%bin% AjrUninst32.exe _gbl%bin% AjrVersion32.exe	_gbl%bin%AjrCst64.dll _gbl%bin%AjrCst64.lib _gbl%bin% AjrInstall64.exe _gbl%bin% AjrSetEnv64.exe _gbl%bin% AjrUninst64.exe _gbl%bin% AjrVersion64.exe
2	C++クラスライブラリ (AjrCstProj.sln)	_gbl%bin%AjxCpp32.dll _gbl%bin%AjxCpp32.lib	_gbl%bin%AjxCpp64.dll _gbl%bin%AjxCpp64.lib
3	C#/VB.NET 用ライブラリ (AjrMsilProj.sln)	_gbl%bin% CAjr3DGraphic.dll _gbl%bin% CAjrBarGraph.dll _gbl%bin% CAjrCPrePro.dll _gbl%bin% CAjrCToken.dll _gbl%bin% CAjrCustCtrl.dll _gbl%bin% CAjrFileSearch.dll _gbl%bin% CAjrInit.dll _gbl%bin% CAjrImpValue.dll _gbl%bin% CAjrSerialComPort.dll _gbl%bin% CAjrSockClient.dll _gbl%bin% CAjrSockServer.dll _gbl%bin% CAjrSphereData.dll _gbl%bin% CAjrStatic.dll _gbl%bin% CAjrStrPool.dll _gbl%bin% CAjrTextFile.dll _gbl%bin% CAjrTimeChart.dll _gbl%bin% CAjrVT100.dll	
6	C/C++用サンプルプログラム	_gbl%bin%SW_XXXXXX_32A.exe (32bit, ASCII) _gbl%bin%SW_XXXXXX_32W.exe (32bit, UNICODE)	_gbl%bin%SW_XXXXXX_64A.exe (64bit, ASCII)
4	C++クラスライブラリを使用した サンプルプログラム	_gbl%bin%SP_XXXXXX_32A.exe (32bit, ASCII) _gbl%bin%SP_XXXXXX_32W.exe (32bit, UNICODE)	_gbl%bin%SP_XXXXXX_64A.exe (64bit, ASCII)
5	C#用サンプルプログラム	各プロジェクトフォルダ下の「bin%Debug」 or 「bin%Release」下に .exe や .dll ファイルが作成される	
6	VB.NET 用サンプルプログラム		

※ **太字**で記述されたファイルが、主な生成ファイル（本ライブラリを構成するファイル）です。
その他のファイルは、補助的なファイルか、インストール操作時にだけ必要なファイルやサンプルプログラムです。

9. ライブラリ ソースプログラムの内容

9.1. C/C++ライブラリ (AjrCst32.dll / AjrCst64.dll) 用ソースプログラム

#	ソース ファイル名		内 容
	_gb1¥inc	AjrCstProj¥src¥AjrCstXX	
1	AjrCstXX.h	—	ユーザ インクルード ファイル
2	AjrCst32.h AjrCst64.h	—	32ビット/64ビット環境用 主ヘッダファイル
3	AjcDef.h	—	基本タイプ定義
4	AjcVerNo.h	—	バージョン番号定義 (未使用)
5	—	AjcInternal.h	内部共通ヘッダ
6	—	AjcKeyInfo.h	ライセンスキー関連の定義ファイル
7	Ajc3dVec.h	Ajc3dVec.c	3Dベクトル演算
8	AjcAvlTree.h AjcAvsTree.h	AjcAvlTree.c AjcAvsTree.c	二分木 (AVL 木) ノード挿入/削除/検索
9	AjcBitmap.h	AjcBitmap.c	ビットマップ処理
10	AjcCheckSum.h	AjcCheckSum.c	各種チェックサム演算
11	AjcCRC.h	AjcCRC.c	各種CRC演算
12	AjcCToken.h	AjcCToken.c	C言語字句分解
13	AjcCtrl3dGraphic.h	AjcCtrl3dGraphicAPI.c AjcCtrl3dGraphicDef.h AjcCtrl3dGraphicDlgRange.c AjcCtrl3dGraphicDrawImage.c AjcCtrl3dGraphicDrawText.c AjcCtrl3dGraphicMSIL.c AjcCtrl3dGraphicSubFunc.c AjcCtrl3dGraphicWndFilter.c AjcCtrl3dGraphicWndMain.c	3D/2Dグラフィック表示
14	AjcCtrlBarGraph.h	AjcCtrlBarGraphAPI.c AjcCtrlBarGraphDef.h AjcCtrlBarGraphDlgRange.c AjcCtrlBarGraphMSIL.c AjcCtrlBarGraphSubFunc.c AjcCtrlBarGraphWndBack.c AjcCtrlBarGraphWndBarStr.c AjcCtrlBarGraphWndFilter.c AjcCtrlBarGraphWndImage.c AjcCtrlBarGraphWndScale.c AjcCtrlBarGraphWndTitleStr.c	棒グラフ/折れ線グラフ表示
15	AjcCtrlInpVal.h	AjcCtrlInpValAPI.c AjcCtrlInpValDef.h AjcCtrlInpValMSIL.c AjcCtrlInpValSubFunc.c AjcCtrlInpValSubClass.c AjcCtrlInpValWndMain.c	数値の入力
16	AjcCtrlListBox.h	AjcCtrlListBoxAPI.c AjcCtrlListBoxDef.h AjcCtrlListBoxDlgAddItem.c AjcCtrlListBoxSubFunc.c AjcCtrlListBoxWndBack.c AjcCtrlListBoxWndLbx.c	拡張リストボックス
17	AjcCtrlLogFile.h	AjcCtrlLogFileAPI.c AjcCtrlLogFileDef.h AjcCtrlLogFileSubFunc.c AjcCtrlLogFileWndMain.c	ログファイル出力
18	AjcCtrlTextEdit.h AjcCtrlTextEditDef.h	AjcCtrlTextEditAPI.c AjcCtrlTextEditMSIL.c AjcCtrlTextEditSubFunc.c AjcCtrlTextEditWndBack.c AjcCtrlTextEditWndMain.c	テキストエディタ機能 (未実装)

つづく

#	ソース ファイル名		内 容
	_gbI¥INC	AjrCstProj¥src¥AjrCstXX	
19	AjcCtrlTimeChart.h AjcCtrlTimeChartDef.h	AjcCtrlTimeChartAPI.c AjcCtrlTimeChartDlgOffset.c AjcCtrlTimeChartDlgOther.c AjcCtrlTimeChartDlgRange.c AjcCtrlTimeChartDlgSpline.c AjcCtrlTimeChartDlgSplSet.c AjcCtrlTimeChartDlgUnitTime.c AjcCtrlTimeChartMSIL.c AjcCtrlTimeChartSubFunc.c AjcCtrlTimeChartWndBack.c AjcCtrlTimeChartWndFilter.c AjcCtrlTimeChartWndMain.c	タイムチャート表示 (波形表示)
20	AjcCtrlVT100.h AjcCtrlVT100Def.h	AjcCtrlVT100API.c AjcCtrlVT100DlgFont.c AjcCtrlVT100DlgOther.c AjcCtrlVT100DlgSave.c AjcCtrlVT100DrawVram.c AjcCtrlVT100MSIL.c AjcCtrlVT100SubFunc.c AjcCtrlVT100WndBack.c AjcCtrlVT100WndMain.c	VT100エミュレーションウインド
21	AjcDateAndTime.h	AjcDateAndTime.c	日付/時間の演算
22	AjcDibSect.h	AjcDibSect.c	DIBセクション操作
23	AjcDlgColor.h	AjcDlgColor.c	ダイアログとコントロール群のカラー設定
24	AjcDlgItem.h	AjcDlgItem.c AjcDlgItemExc.c AjcDlgItemPerm.c	ダイアログ項目の操作
25	AjcFFT.h	AjcFFT.c	高速フーリエ変換
26	AjcFileDir.h	AjcFileDir.c	ファイル/ディレクトリ操作
27	AjcFileSearch.h	AjcFileSearch.c	ファイル検索
28	AjcFontDlg.h	AjcFontDlg.c AjcFontDlgSub.c	ダイアログボックスによるフォント選択
29	AjcGeneral.h	AjcGeneral.c	汎用サブ関数
30	AjcGetFileDir.h	AjcGetFileDir.c	ファイル/ディレクトリ入力
31	AjcHeapSort.h	AjcHeapSort.c	ヒープソート
32	AjcHexData.h	AjcHexData.c	インテルHEX/モトローラS形式ファイルアクセス
33	AjcImgFunc.h	AjcImgFunc.cpp	イメージファイル (.bmp, .jpg, .png, .gif) の読み出しと表示
34	AjcIniFile.h	AjcInifile.c	初期化ファイル (.ini ファイル) のアクセス
35	AjcLzhDecode.h	AjcLzhDecode.c	LZH圧縮ファイルの解凍
36	AjcMain.h	AjcMain.c	DLLエントリと、汎用サブ関数
37	AjcMAlloc.h	AjcMAlloc.c	メモリ割り当て (malloc() のラッパー)
38	AjcMbxF.h	AjcMbxF.c	スレッド間のメールデータ通信 (固定長データ)
39	AjcMbxV.h	AjcMbxV.c	スレッド間のメールデータ通信 (可変長データ)
40	AjcMonitorInfo.h	AjcMonitorInfo.c	ディスプレイ情報の取得
41	AjcMsgMap.h	AjcMsgMap.c	ウインドプロシージャ, ダイアログプロシージャの簡素化
42	AjcPopupMenu.h	AjcPopupMenu.c	ポップアップメニュー
43	AjcPrePro.h	AjcPp.h AjcPpAvlInc.c AjcPpAvlIStr.c AjcPpAvlNStr.c AjcPpDefined.c AjcPpFormula.c AjcPpGsr.c AjcPpMacro.c AjcPpMain.c	C言語のプリコンパイル
44	AjcPrinter.h	AjcPrinter.c	印刷処理
45	AjcProcessMem.h	AjcProcessMem.c	他プロセス内のメモリ操作
46	AjcProfile.h	AjcProfile.c	プロファイルアクセス

#	ソース ファイル名		内 容
	_gbl¥INC	AjrCstProj¥src¥AjrCstXX	
47	AjcQueF.h	AjcQueF.c	線形リスト制御 (固定長データ)
48	AjcQueV.h	AjcQueV.c	線形リスト制御 (可変長データ)
49	AjcQueX.h	AjcQueX.c	双方向リスト制御 (可変長データ)
50	AjcRegFile.h	AjcRegFile.c	レジストリアクセス
51	AjcRingBuf.h	AjcRingBuf.c	可変長リングバッファ制御
52	AjcSbcComboBox.h	AjcSbcComboBox.c	拡張コンボボックス
53	AjcSbcRadioBtns.h	AjcSbcRadioBtns.c	ラジオボタンのグループ操作
54	AjcSepStream.h	AjcSepStream.c	バイトストリーム分離
55	AjcSerialComPort.h	AjcSerialComPortAPI.c AjcSerialComPortDef.h AjcSerialComPortDlg1.c AjcSerialComPortDlg2.c AjcSerialComPortMSIL.c AjcSerialComPortSubFunc.c AjcSerialComPortThreadObs.c AjcSerialComPortThreadRx.c AjcSerialComPortThreadTx.c AjcSerialComPortWrapSys.c	シリアル通信 (COMポート通信, メールスロット, ソケット通信)
56	AjcSockClient.h	AjcSockClientAPI.c AjcSockClientDef.h AjcSockClientMSIL.c AjcSockClientSubFunc.c AjcSockClientThreadComm.c	ソケット (TCP/IP) クライアント
57	AjcSockServer.h	AjcSockServerAPI.c AjcSockServerDef.h AjcSockServerMSIL.c AjcSockServerSubFunc.c AjcSockServerThreadClient.c AjcSockServerThreadListen.c AjcSockServerThreadPowCtrl.c	ソケット (TCP/IP) サーバ
58	AjcSphereData.h	AjcSphereData.c	サンプルデータ生成
59	AjcSpline.h	AjcSpline.c	スプライン計算
	AjcStateCtrl.h	AjcStateCtrl.c	状態遷移制御
60	AjcStdIo.h	AjcStdIo.c AjcStdIoCln.c	コンソール入出力
61	AjcString.h	AjcString.c	文字列操作
62	AjcStrPool.h	AjcStrPool.c	文字列プール
63	AjcTextFile.h	AjcTextFile.c	テキストファイルアクセス
64	AjcTimeMeasure.h	AjcTimeMeasure.c	時間計測
65	AjcTimeMesView.h	—	描画時間計測情報
66	AjcTipTxt.h AjcTipCtrl.h	AjcTipText.c AjcTipCtrl.c	ツールチップ制御
67	AjcVmg.h	AjcVmg.c	変数管理
68	AjcWndItem.h	AjcWndItem.c AjcWndItemExc.c AjcWndItemPerm.c	ウインド項目 (コントロール) の操作
69	AjcWndSupport.h	AjcWndSupport.c	ウインド操作
70	AjcXYModem.h	AjcXYModemL.h AjcXYModem.c AjcXYModemTbl.c	YMODEM, YMODEM通信処理

9.2. C++用クラスライブラリ

#	ソース ファイル名		内 容
	_gbl¥INC	AjrCstProj¥src	
1	AjxCpp.h	-	代表インクルードファイル
2	-	Ajx.cpp	DLLエントリ
3	AjxAvl.h, AjxAvs.h	AjxAvl.cpp, AjxAvs.cpp	二分木 (AVL 木) ノード挿入/削除/検索
4	AjxBar.h	AjxBar.cpp	棒グラフ/折れ線グラフ表示
5	AjxBmp.h	AjxBmp.cpp	ビットマップ処理
6	AjxCon.h	AjxCon.cpp	コンソール入出力
7	AjxCtk.h	AjxCtk.cpp	C言語字句分解
8	AjxCtrl.h	AjxCtrl.cpp	コントロールのアクセス
9	AjxDlg.h	AjxDlg.cpp	ダイアログボックス/ダイアログ項目のアクセス
10	AjxFile.h	AjxFile.cpp	テキストファイルアクセス
11	AjxFsr.h	AjxFsr.cpp	ファイル検索
12	AjxG2d.h	AjxG2d.cpp	2Dグラフィック表示
13	AjxG3d.h	AjxG3d.cpp	3Dグラフィック表示
14	AjxHso.h	AjxHso.cpp	ヒープソート
15	AjxInp.h	AjxInp.cpp	数値の入力
16	AjxLbx.h	AjxLbx.cpp	拡張リストボックス
17	AjxLzh.h	AjxLzh.cpp	LZH圧縮ファイルの解凍
18	AjxMbx.h	AjxMbx.cpp	スレッド間のメールデータ通信
19	AjxPpc.h	AjxPpc.cpp	C言語のプリコンパイル
20	AjxPrn.h	AjxPrn.cpp	印刷処理
21	AjxQue.h	AjxQue.cpp	線形リスト制御
22	AjxQueX.h	AjxQueX.cpp	双方向リスト制御
23	AjxScp.h	AjxScp.cpp	シリアル通信 (COMポート通信, メールスロット, ソケット通信)
24	AjxSct.h	AjxSct.cpp	ソケット (TCP/IP) クライアント
25	AjxSpd.h	-	サンプルデータ生成
26	AjxSpl.h	AjxSpl.cpp	文字列プール
27	AjxSsv.h	AjxSsvSvr.cpp, AjxSsvCli.cpp	ソケット (TCP/IP) サーバ
28	AjxTch.h	AjxTch.cpp	タイムチャート表示 (波形表示)
29	AjxTip.h	AjxTip.cpp	ツールチップ制御
30	AjxVth.h	AjxVth.cpp	VT100エミュレーションウインド
31	AjxXym.h	AjxXym.cpp	YMODEM, YMODEM通信処理

※上記プログラムは、そのほとんどが「AjrCst32.dll / AjrCst64.dll」のラッパー・プログラムです。

つまり、実際のほとんどの処理は、「AjrCst32.dll / AjrCst64.dll」(ネイティブコード) で実行されています。

9.3. C#, VB.NET 用ライブラリ

#	ソース ファイル名	実行ファイル	内 容
1	CAjr3DGraphic.cs	CAjr3DGraphic.dll	3D/2D グラフィック表示
2	CAjrBarGraph.cs	CAjrBarGraph.dll	棒グラフ/折れ線グラフ表示
3	CAjrCPrePro.cs	CAjrCPrePro.dll	C 言語のプリコンパイル
4	CAjrCToken.cs	CAjrCToken.dll	C 言語の字句分解
5	CAjrCustCtrl.c	CAjrCustCtrl.dll	ライブラリの共通定義
6	CAjrFileSearch.cs	CAjrFileSearch.dll	ファイル検索
7	CAjrInit.c	CAjrInit.dll	初期化 / ネイティブ DLL 呼び出し
8	CAjrInpValue.cs	CAjrInpValue.dll	値の入力
9	CAjrSerialComPort.cs	CAjrSerialComPort.dll	シリアル通信 (COM ポート, メールスロット(UDP/IP), ソケット(TCP/IP) 通信)
10	CAjrSockClient.cs	CAjrSockClient.dll	ソケット (TCP/IP) クライアント
11	CAjrSockServer.cs	CAjrSockServer.dll	ソケット (TCP/IP) サーバ
12	CAjrSphereData.c	CAjrSphereData.dll	サンプルデータ生成
13	CAjrStatic.c	CAjrStatic.dll	スタティッククラス
14	CAjrStrPool.cs	CAjrStrPool.dll	文字列プール
15	CAjrTextFile.cs	CAjrTextFile.dll	テキストファイルアクセス
16	CAjrTimeChart.cs	CAjrTimeChart.dll	タイムチャート表示 (波形表示)
17	CAjrVT100.cs	CAjrVT100.dll	VT100 エミュレーションウインド

※上記プログラムは、そのほとんどが「AjrCst32.dll / AjrCst64.dll」のラッパー・プログラムです。

つまり、実際のほとんどの処理は、「AjrCst32.dll / AjrCst64.dll」(ネイティブコード) で実行されています。

10. 再配布

- 本ビルドパッケージに含まれるライブラリ自体のソースプログラムを再配布することはできません。
- 本ビルドパッケージや、ソースプログラムは自由に改造/改変を行うことができます。
ビルドした**オブジェクト**は、**非営利目的**の場合に限り、自由に配布することができます。
- 本ライブラリは、自由に利用することができますが、どのような場合においても利用者の責任において利用してください。
運用結果については、一切責任を負いかねます。
- 本ライブラリのビルドパッケージの内容（設計内容や処理内容）に関する個別のご質問にはお答え致しかねます。

11. 免責事項

本ソフトウェアは、一通りの動作チェックを行っていますが、動作を完全に保障するものではありません。
本ソフトウェアを使用したアプリケーションの運用結果については、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

12. 問い合わせ先

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、件名の先頭を「Ajara:」として、以下のメールアドレスに送付してください。

`xxxajarakojara@kk. email. ne. jpxxx`

[注] 先頭と末尾の「xxx」は削除してください。
「@」は、全角となっていますので、半角に訂正してください。

メールアドレスは変更される場合がありますので、以下のURLで確認してください。

<http://www.ne.jp/asahi/ajara/kojara/>